

第2学年 道徳科 学習指導案

1. 主題名 立場を尊重し、寛容な心をもつ
内容項目 B [相互理解、寛容]
教材名 「言葉の向こうに」
(出典：『中学校道徳 読み物資料集』文部科学省) (一部改作)

2. 主題について

(1) 主題設定の理由

平成29年7月に公示された新学習指導要領解説では、B- (9)「相互理解,寛容」は「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと」とある。

一人一人の人間は、それぞれが個性をもっており、それらさまざまな個性をもった人たちが集まり、この社会をつくっている。さまざまな個性があるため、その個人が持っている考えも多様である。ときには、相手の考えが違うことに、とまどう場面が出てくる。また、相手の考えを理解することができず、上手に相手と接することができない場面もでてくる。それゆえ、一人の人間として、心を広げ相手の考えや立場、個性を認めていこうとする心構えを育てることや相手のことを尊重した行動をすることが大切になってくる。そこで、社会の中で生きていくうえでは、たくさんの意見があることを理解し、心を広く素直にほかの意見も受け入れ、さまざまな考えや立場を尊重し、お互いに、認め合い成長しようとする気持ちを育てることが大切である。

この内容項目の学習を通して、人間が相互に個性や立場を尊重することが、自分の人生にとってどのような価値をもつのか考えるとともに、誰もが様々な立場に立って個性を発揮することのよさと、相手や場面が変わっても、寛容の心を持ち謙虚に他に学ぶことが人間としての成長に役立つことに気付かせたい。

(2) 生徒の実態について

2年生に進級し、クラス替えがあり、4月当初は緊張している様子が見受けられた。8ヶ月経ち、体育祭・合唱コンクールという大きな行事を経て人間関係が構築されつつある。係の仕事に責任を持って取り組み、周りを見て積極的に助け合うことができる生徒が多いが、級友にアドバイスをもらった時に、素直にアドバイスを受け入れられず、級友に心ない言葉を投げかけたり、自己主張を押し通そうとしたりする生徒の姿も見られる。特に、10月に行われた合唱コンクールでは、学級での練習では級友のアドバイスを素直に聞き入れることができず、トラブルになったことがあった。他者の意見を認めて、素直に受け入れる謙虚さを身につけさせたい。

(3) 教材について

主人公加奈子はヨーロッパのサッカー選手 A が大好きで、インターネットでファン仲間とともに応援できる喜びを感じていた。しかし、悪口の書き込みに対して反論するうちに自分自身もひどい言葉を使って応酬し、注意されてしまう。自分の気持ちが理解されない悔しさや悲しさと、顔が見えないネット上の言葉のやりとりで、難しさや恐ろしさを感じる加奈子だが、ふと相手のことや読み手のことを考えたときに、大切なことに気付く。最初は相手を許すことができなかった加奈子が、なぜ許すことができるようになったのかを考えさせて、寛容の心に気が付けさせたい。

情報モラルに関する教材を活かして考え話し合いながら、問題の根底にある寛容という道徳的価値に気付かせ、今までの生活を振り返りながら考えを深めさせていきたい。

3. 指導構想

相手の気持ちを考える

時期	学習内容と活動	指導上の配慮事項
4月	学級会（学級のルールの再確認） （学級活動）	・クラス替えを行った後、学級会でお互いの意見を出し合いながら、クラスのルールの再確認を行う。
6月	(B-9 相互理解,寛容) 「私もいじめた一人なのに」(道徳)	・いじめに対し勇気を出して立ち向かう態度を身につけさせる。
7月 9月	自然教室に向けた取組 （学級活動・総合的な学習の時間）	・お互いのことを理解しながら、協力して活動する態度を育てる。
10月	合唱コンクールに向けた取組 （学級活動・総合的な学習の時間）	・目標に向けて集団の中で、お互いのことを理解しながら、協力して取り組む姿勢を育てる。
11月	(B-9 相互理解,寛容) 「言葉の向こうに」(道徳)	・様々なものの見方があることを理解し、寛容の心をもととする態度を育てる。

4. 本時の展開

(1) ねらい

それぞれの立場を尊重し、様々なものの見方があることを理解して、寛容の心をもととする態度を育てる。

(2) 展開

過程	発問と予想される生徒の反応	教師の支援（手立て） 指導上の留意点	評価
導入	1. インターネット上でのやりとりで、どんなことが話題となっているか、確認する。 ○普段どんなことがライン上等で話題になる？	・教師が範読する。 ・パワーポイントで 掲示板を出す。 ・数人に発言させる。	

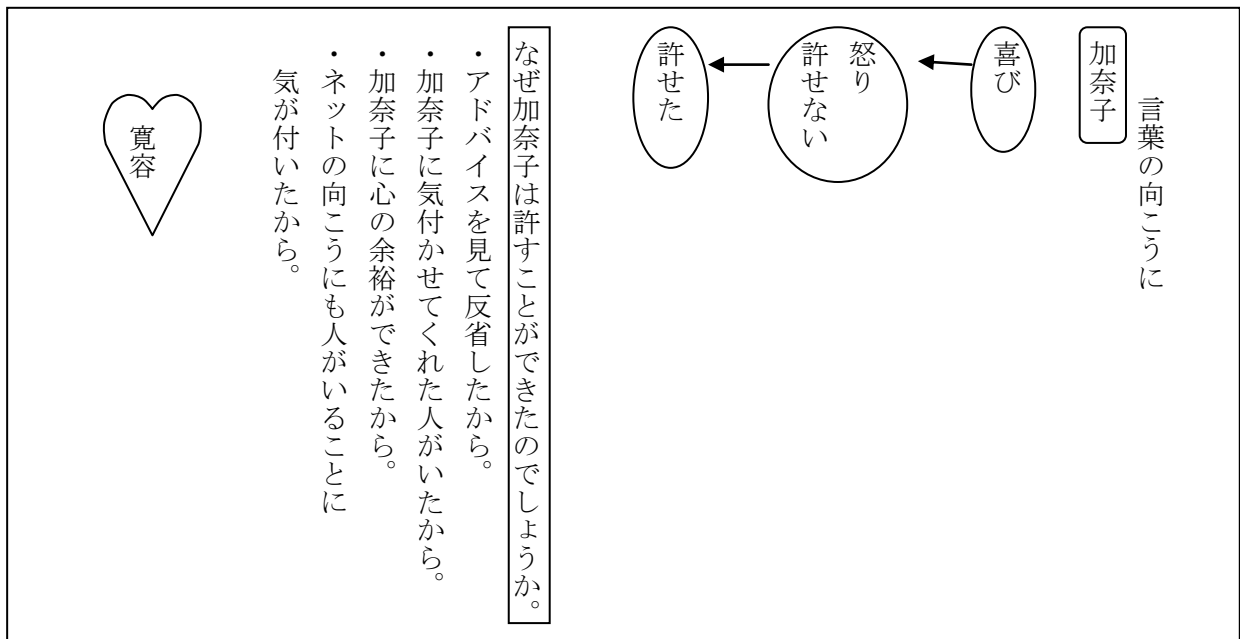
<p>展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おしゃべり・部活のこと・学校のこと ・趣味のこと・友だちのこと など <p>2. 教材「言葉の向こうに」を聞き、加奈子の気持ちを考える。</p> <p>○このあと、加奈子は何と書くでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むかつく。・頭にくる。・許せない。 ・反省しろ。・大好きな A 選手のこと悪く言うなんてひどい。・A 選手のことよく知らないくせに。 <p>3. 実際の書き込みを読む。</p> <p>4. 後半を読み、加奈子の心情の変化を捉える。</p> <p>○どんな書き込みがありましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A 選手の悪口を書かれて黙っていろって言うんですか。こんなこと書かれたら、見た人が A 選手のことを誤解してしまうよ。 ・あなたのひどい言葉も見られています。読んだ人は、A 選手のファンはそういう感情的な人たちだった思っちゃいますよ。中傷する人たちと同じレベルで争わないで。 ・挑発に乗っちゃだめ。一緒に中傷し合ったらきりがないよ。 ・ ・ <p>○怒っていた加奈子がどうなりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・許した。・気にしていない。 ・明るい気持ちになった。 <p>◎加奈子はなぜ許すことができたのでしょうか。</p> <p>→ ワークシートに自分の考えを書き、グループで意見交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスの言葉があったから。 ・アドバイスをみて、このままではいけないと思ったから。 ・反省したから。 ・加奈子が落ち着いておおらかになったから。 ・加奈子に気付かせてくれた人がいるから。 ・加奈子に心の余裕ができたから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加奈子の怒っている気持ちを押さえる。 ・加奈子のうれしさからの気持ちの変化を押さえる。 <p>・加奈子に対するアドバイスがあったことに気が付けたい。</p> <p>・加奈子の怒りが変化したことに気が付けたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数人に発言させる。 ・発言が出ない場合には、グループ内で出た共通のキーワードを挙げさせる。 ・キーワードから寛容に結びつけていきたい。 	<p>ワークシート 発言</p>
-----------	---	---	----------------------

<p>終末</p>	<p>・ネットの向こうには人がいるということ</p> <p>○許せるようになったのは、どんな心があるからでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い心・気にしない心・一歩引く心 ・許そうとする心 <p>5. 本時の内容を振り返る。</p> <p>○今までの生活を振り返って、今思えば寛容の心を持って、許せたこと、もしくは許せなかったことは、ありますか。</p>	<p>・加奈子、悪口を言っている人、アドバイスをした人、それぞれの絵を用いて、加奈子の立ち位置を確認し、立ち位置の変容を押さえ、寛容の理解につなげたい。</p> <p>・寛容の定義をきちんと押さえたうえで、終末に結びつける。</p> <p>・数人に発言させる。</p>	<p>ワークシート 発言</p>
-----------	---	--	----------------------

5. 本時の評価

それぞれの立場を尊重し、様々なものの見方があることを理解して、寛容の心をもととすることができたか。(観察・発言・ワークシート等から)

(板書計画)

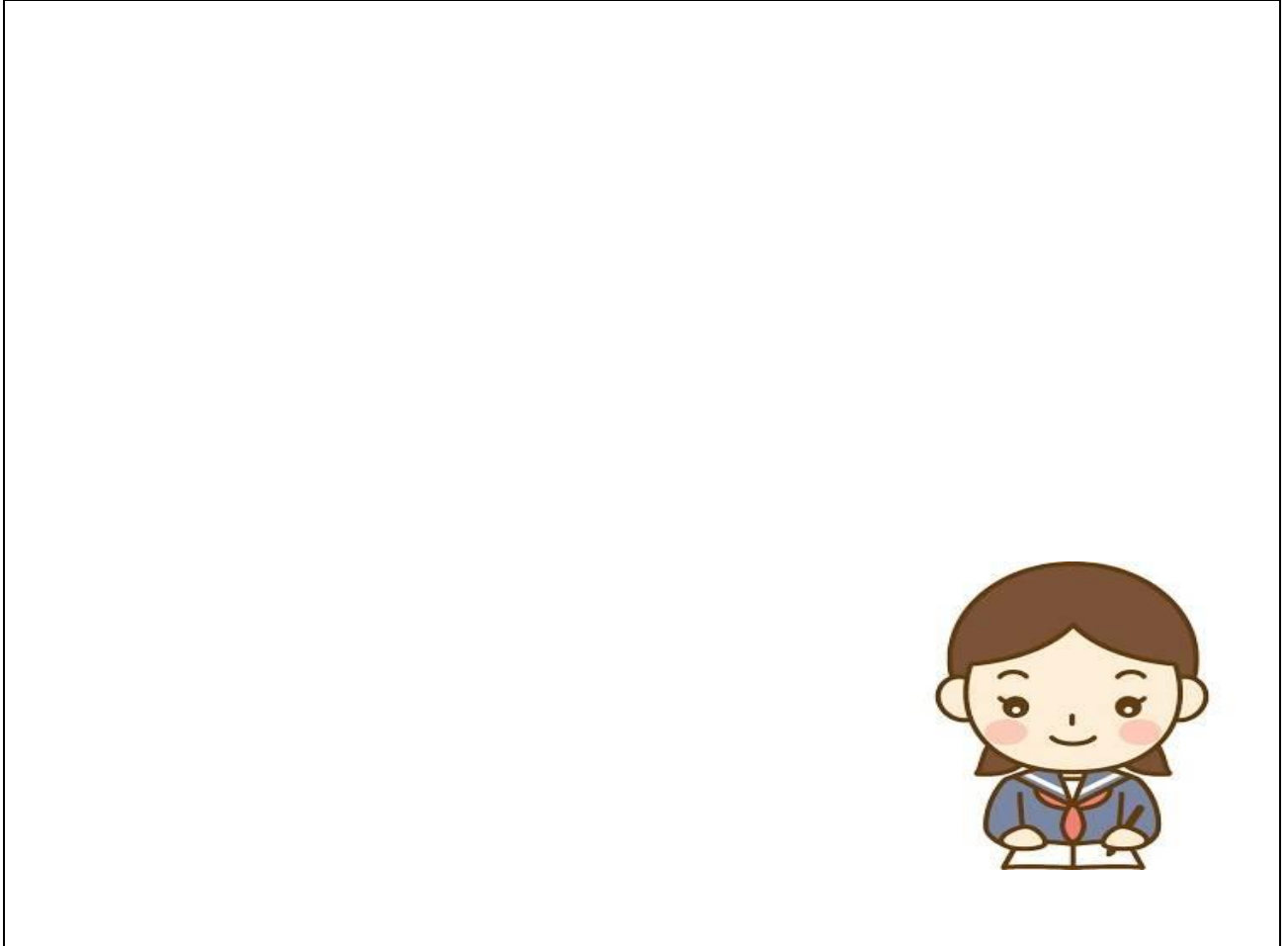


道徳

言葉の向こうに……

氏名()

1.



A large empty rectangular box for drawing or writing. In the bottom right corner of the box, there is a cartoon illustration of a young girl with brown hair, wearing a blue school uniform with a red tie, sitting at a desk with her hands on the desk.

2. 今までのことを振り返ってみよう。



A large empty rounded rectangular box for writing.